

千葉職対連ニュース

発行 千葉労災職業病対策連絡会

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町 4-524-2

千葉民医連事務センタービル 2F

TEL/FAX 043-273-9199

E-mail : chiba_syokutairen@ybb.ne.jpHP : <https://chiba-syokutairen.org/>

記念冊子に思い出をお寄せください

2020年夏に千葉職対連の活動を終えます。つきましては、千葉職対連にまつわる思い出を募集致します。千葉職対連との出会いや、その後の関わり、思い出は会員おひとり、おひとり違いま

す。皆さまの投稿で、45年間の活動を冊子に納めたいと願っています。飾らない言葉で、苦しかった事や頑張った事、なつかしく思い出すことなどを綴ってください。お待ちしております。

字数 : 1,500字程度 (A4版用紙1枚程度)

宛先 : メール chiba_syokutairen@ybb.ne.jp

F A X 043-273-9199

郵送 〒262-0032 千葉市花見川区幕張町 4-524-2 千葉労災職業病対策連絡会

締切 : 2020年3月末日

2019年11月17日-18日

第19回 働くもののいのちと健康を守る

関東甲信越学習交流集会に参加して

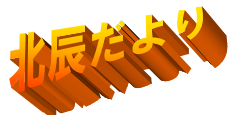
関東甲信越学習交流集会に参加する為、私は初めて山梨県石和温泉へ。天気は良く晴れまして、緩やかな山の向こうに壮大な富士山が電車内から何度も見えました。

集会の記念講演「多様化する働き方と労働者の健康をどうまもるか」は毎日新聞記者東海林智様がはつらつとお話をされました。特別報告では深澤 佳人先生が「公務災害認定裁判」で平成24年から7年間闘い続け、全面勝利したことを力強くお話しされました。交流会の後はオプションツアーに参加し、山梨の戦争遺跡を見学し、戦争時代の歴史に関して大変勉強になりました。

当集会への参加は4回目で、参加した後に毎回いろいろ複雑な心境になります。労災認定の難しさ、不当な打ち切り、過労死、不当解雇、各種手続きのプロセス等々の解決しなければならない問題が山積みです。人為的に高難度化、長期化することは、不幸な者に対する二次の不幸です。

私は20年ほど前に病院勤務で重労働が重なり腰を壊した労災被災者です。当時労災制度に関する知識は皆無でした。言葉の壁も高く、千葉労働基準監督署に言われたことを鵜呑みにしていましたが、後に多くの手続きが然るべき形で行われなかったことがわかりました。働けない状況にも拘わらず、長年休業補償給付が受けられず、治療法も手術以外認められず、術後の治療費用給付も一年以上待たされるなど、納得のいかないことが続きました。そして追い打ちをかけるように、正当な根拠もなく症状固定と一方的に決めつけられました。

今の労災制度は日本人にとっても非常に分かりにくい「ブラックボックス」のようで、不当な措置にも対応するすべがないと感じています。今後さらに外国籍の労働者が増える日本において、分かりやすいプロセスと補償は急務な課題だと思います。 (相談会協力会員 劉 可及)



「教訓を学ばない歴史家と教育」(連載その1)

過去を消して「真実」が共有できないような社会は一体どうなるのでしょうか。社会に民主的議論の基盤が存在しなければ、いくら議論しても真実は得られず、その真実なしには、社会の適切な進行方向を見つけることは出来ません。そこから生まれる結論はまったく不確かで危ういものになるのは、現在の日本の混乱に象徴されています。虚偽や隠蔽、妄想などに基づいた情報では合理的な見通しをもつことは不可能でした。その結果、日本は77年後に滅ぶべくして滅びました。今回はその端緒について話を補足する議論から進めます。

もし250年間続いた徳川の平和期が明治以降もそのまま続いていたら一体どうなっただしょうか。その場合、実際とは異なり日本に歴史空白は生じなかったでしょう。徳川の平和を維持した知恵が残り明治維新後も活用出来ていたら、日本はまったく違った道を歩んだと思います。理性と誇りをもって西洋列強との交渉に臨んだ徳川官僚たちはその見識を働かせて外国との無謀な戦争をさげ領土を失うこともありませんでした。これはインドや中国などお隣の国とは違いました。日本は対等な条件で通商条約を結ぶことに成功しました。この条約は今までは「不平等条約」と教えられてきましたが、歴史学の成果によりそうではなかったと見直されています。真っ当な条約締結に成功したのは、平和な江戸期に蓄積されてきた武士たちの「知恵」と「勇気」が生かされたからだだと思います。しかし残念なことに、その優れた知恵はテロリストに

より徳川幕府崩壊と共に消されてしまいました。テロリストである彼らの言い分は「天皇の勅許を得ずに結んだ外国との条約は不当である、この条約は一旦破棄し、元の鎖国状態に戻せ」という非常識なものでした。日本の近代化の目標は日本を開国し諸国と交易を開始することです。しかし彼らはそれを理解できませんでした。「ただただ、条約をいったん破棄し鎖国に戻せ、もし外国が鎖国を承認しなければ、その場合は攘夷戦争を決行する」という「破約攘夷」が目標でした。この「破約攘夷」がいかにか危険であるかは、十年後の下関戦争で彼らが痛い目にあってやっと理解したのです。先見性を持てなかったテロリストたちは下関戦争で敗北し痛い目にあってやっと自分たちの非常識に気が付いたのです。10年以上も遅れています。しかし残念なことは、徳川幕府のトップは官僚たちとは違ってテロリストの無謀な議論に屈しそれまでの家臣の努力を無にしたのです。そこには天皇の権威を利用した大きな圧力があつたからですが、無責任な幕府トップが「破約攘夷」を約束させられたのはお粗末でした。見識もなく先見性もなかった薩長過激派のテロリストは天皇制を私物化し天皇を政治利用する道をこじ開けたのです。神権天皇制の国にした日本は七十七年後によもや国を大破綻させることになるとはまったく考えなかったと思いますが、これが著しく思慮を欠いた判断だったのです。なぜ神権天皇制が日本を破たんさせたのかを次回取り上げます。

(北辰)

当面の取組日程

千葉職対連事務局

1	・	8(水)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
1		1(土)	千葉労連新春旗開き	17:00~	プラザ菜の花
1		5(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
2		5(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	成田市中央公民館
2	・	12(水)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
1		9(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
2		9(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	千葉市中央コミュニティセンター
2		9(土)	職場の安全と健康を考える県民の集い	13:00~	船橋市勤労市民センター (予定)